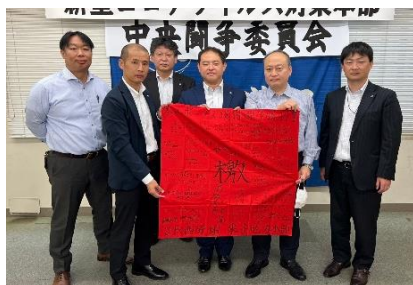


WESTUNION
WEST UNION
第398号
2022年11月8日

J R よなご
西労組
west japan railway trade union - YONAGO

西日本旅客鉄道労働組合
米子地方本部
発行責任者 大川 達也
編集責任者 高真 靖幸

冬のボーナス獲得に向けた総決起集会 & 中央闘争委員会激励行動



中央闘争委員会へ
米子地方本部の負託を
直接届ける

米子地方本部は、中央闘争委員会への激励行動を10月17日に行った。激励行動については、各支部のメッセージを書き込んでいた。き、作成したものです。手渡しする際には、期待感が高まる中、最後まで粘り強い交渉を求めるとともに、組合員が納得する賃金の獲得への奮闘をお願いし、直接手渡しを行いました。



サテライト会場で参加
(米子地方本部)

中央本部は、冬季(年末)賞与の獲得に向けた意思統一を図るため、10月27日に総決起集会を開催し、米子地本としてもサテライト会場を設置し、各支部の役員と共に参加した。冒頭の上村執行委員長は、「会社は、ここまで組合員の奮闘に人財への投資という形で応えるべき」、「離職に歯止めをかけるためには、これまで頑張って良かったと思える回答でなければならぬ」と挨拶が行われた。その後、各エリアを代表して、現場の生の声による意気込みや現状の課題などが報告され、冬季賞与にかける想いを訴えた。

県議会議員(鳥取・島根)に政策課題を訴える!



米子地方本部は、10月25日(火)に米子コンベンションセンターにて、鳥取県議会議員の会派民主(7名)・島根県議会議員の民主県民クラブ(5名)に所属されている連合推薦議員の皆様と意見交換を実施しました。大会の冒頭に組織内も激布や決起集会など気運を高める行動を積極的に取って頂きたいと言葉があった。

冒頭に、鳥取県の会派民主を代表し、伊藤保会長より挨拶を頂いた。ち、JR西労組の政策課題について大川委員長がパワーポイントを活用し提起しました。

その後は、各支部が掲げている政策や取り組みを実施し、県議会などでの発言や今後の政策に反映していただきたいと要望を行いました。

閉会にあたっては、島根県の民主県民クラブを代表して、須山隆会長より、「貴重な機会であった。今後、JR西労組の政策活動に対して連携を図りながら取り組んでいきたい」と心強い挨拶を頂きました。

米子地方本部は、引き続き推薦議員の皆様方と政策実現に向けた活動を推進するとともに、来春の統一地方選に向けて取り組みの強化を図っていきます。

益田市へ自治体訪問 with 石見支部

11月7日(月)に石見支部、平原市議と共に益田市へ自治体訪問を行い、「持続可能な地域公共交通をつくる政策提言」について説明し、共に取り組める活動や地域からの構築に向けて意見交換をしました。

山本市長より、公共交通機関は必要不可欠なものであり、鉄道のみのならず、路線バスも同じようにご利用が減少しているなかで、将来を見据え何らかの手立てを行っていかねばならないと認識しており、地域公共交通計画を策定し、地域の方に利用していただけたら取り組みを進めてきていただけたらと話をされた。

また、地域の皆様から駅待合スペースについて、益田駅の駅係員の不在時間帯が多い要望や意見を頂いていることが伝えられ、共に課題解決に向け、取り組んでいくことを約束した。



第1回交運共済担当者会議

こくみん共済coopへの移行手続きに関する打ち合わせを行う



11月1日(火)に各支部・分会役員を対象に、第1回交運共済担当者会議を開催しました。内容については、現行の交運共済が来年の7月よりこくみん共済coopに移行することを踏まえて、こくみん共済coopの担当者をお招きし、制度内容や掛金について説明をしていただき、来年の1月には、現行加入している交運共済の加入約紙とこくみん共済coopへの加入約紙が全組合員に配布される予定です。

今後の主なスケジュール

- ①2022年1月中
「第2回担当者会議」開催
- ②2022年1月下旬
解約届け及び加入届け配布
- ③2022年3月初旬
解約届け及び加入届け締切